

やんばらあ〜わっせ 2014年10月 第29号

琉球バス研修

きらら りゅうきゅう
希輝々と琉球バスさんとでノンステップバ

のとき じょうしゃ くるま こてい
スに乗る時の乗車や車いすの固定の

しかた たが かくにん こうしゅうかい
仕方をお互いに確認する講習会を

おこな
行いました。



りょう さい すこ き くるま こてい
ノンステップバスを利用する際に少し気になっていたのが、バスに車いすを固定するのに、

じかん の きやく ま すこ はや こてい
時間がかかっていたので、乗っているお客様を待たせることがあって、もう少し早く固定す

おも
ることができないかなあって思っていました。

くるま こてい いち ばしょ ちが かいしゃ かつ
だけど、車いすによって固定する位置とか場所が違ってくるので、バス会社の方たちも

たいへん
大変だということがわかりました。

しかくしょう しゃ かつた もうどうけん いっしょ の さい すわ ばしょ いち かくにん
あと、視覚障がい者の方が盲導犬と一緒に乗った際の座る場所の位置を確認

よ おも
できたのも良かったと思っていました。

ていきてき こんかい たが かくにん きかい つく うんてんしゅ あわ
定期的に今回みたいに、お互い確認する機会を作っていけば、運転手さんが慌

こてい じぶん ま き
てて固定することもなし、また、自分たちもバスを待たしてしまっていることも気にすることなく、お

きゃく ま きも の おも
客さんもあまり待たせることなく気持ちよくバスに乗れるかなと思いました。By:R・H

第10回フィールドトリップLP開催!!

にち きらら なつ こうれい
9月13日に希輝々による夏の恒例イ

かいさい
イベント「フィールドトリップ I L P」が開催さ
れました!

こんかい かいさいばしょ せいき もり
今回の開催場所は21世紀の森ビ

そうぜい めい さんかしゃ
一斉で、総勢150名ほどの参加者が



あつ
集まってくれました。

ぜんじつ あいにく てんき つづ わたし しゅさいがわ は
前日までは生憎の天気が続く、私たち主催側は「晴れるかな…、できるかな…」と

ふあん かが どうじつ むか
ずーっと不安を抱えながら当日を迎えました。

ひ みごと てんき は てんこう めぐ みな ねつい
その日になると、見事に天気は晴れました。天候に恵まれたのも、きっと皆さんの熱意がお

てんとさま とど
天道様に届いたんでしょうね☆

このイベント「フィールドトリップ I L P」の

もくてき しょうがい かたがた しゃかい
目的は、障害のある方々の社会

せいかつ だいいっぽ まいとしおこな
生活への第一歩として毎年行っ

ています。かいすいよく ちぎよ ほうりゅう
海水浴や稚魚の放流、BB

Qにレクリエーションなどといった、たの ば
楽しみの場

から、にんげんかんけい こうちく たか じこしんらい かいふく まな のぞ
人間関係の構築を高め、自己信頼の回復へといった学びが臨

めると かんが
考えています。

こんかい じゅんちよう すす かくじ ゆういぎ じかん す さんか
今回もイベントは順調に進んでいき、各自で有意義な時間を過ごしました。参加して

くれた みな きょうりよく おきなわ きぎょうだん みな とうじつ
皆さん、協力して下さったダスキン沖縄エリア企業団の皆さんや、当日にい

ろいろとサポートをしてくれた かたがた ちから ひと こんかい せいこう おさ
方々との力が一つとなって、今回も成功のうちに収める
ことができました。ありがとうございました。

さんか くだ みな とど
参加して下さいました。皆さんから届いた

かんそう いちぶ しょうかい
感想を一部ご紹介いたします。

★チェアボートに乗って海に入っ たい
てチョー

たの だいすう すく
楽しかったです。チェアボートは台数が少

なかつたので、みんなが乗れるように譲ってあげました。今年はカメラ 係 もやったので 忙 しか

ったです。らいねん てもっとたくさんイベントのお手伝いをしたいです。・T)



第53回手をつなぐ育成会沖縄大会

さ がつ にち だい かい
去った8月30、31日に第53回

きゅうしゅうちくしゆ いくせいかい
九州地区手をつなぐ育成会

おきなわたいかい かいさい
沖縄大会が開催されました。この

たいかい けんりようご ちいき きょうせい
大会は「権利擁護は地域との共生

しゃかい じつげん しゆだい
社会の実現から」という主題のもとに

かいさい きゅうしゅうちく たとどうふけん おきなわほんとう りとう ふく
開催され、九州地区の他都道府県や、沖縄本島においても離島などを含めた

かた かずおお さんか
方が数多く参加されていました。



て いくせいかい ちてきしょうがい
この手をつなぐ育成会は知的障害

も こ おや こうせい
をお持ちのお子さんの親たちで構成されて

なか たいかい にちかん
います。その中で、大会2日間あった

にちめ ぶんかかい
うち、1日目は分科会がありました。ぼくは

ぶんかかい なか だい ぶんかかい
その分科会の中の第3分科会の

ちいき せいかつ く さんか はっぴょうしゃ たけん いくせいかい
「地域、生活、暮らし」に参加させていただきました。発表者は他県の育成会

かいちよう そうだんしえん かた こんじっせん そうだん じりつ
会長や、相談支援センターの方などで、今実践している相談ネットワークや自立



しえん はなし しゃかいしげん ふくし じょうほうていきょう こと
支援の話がありました。まず、社会資源や福祉サービスの情報提供をする事、

ほんにん や こと き こと す ちいき かた なじ とく こと ふ
本人に遣りたい事を決めてもらう事、住む地域の方と馴染ませる取り組みをする事、触れ

あ さんか こととう かお し いただ きび ひと
合うイベントに参加する事等でまず顔を知って頂くこと、コミュニケーションが厳しい人であ

にちじょうせいかつ つね よう え もじばん つか
れば日常生活で常に要するものを絵と文字盤にして使いコミュニケーションをとれるよ

とうじしゃどうし こと じゅうよう かん
うにすること、当事者同士がつながっていくという事も重要なカギをしめているのだなあと感じ

じりつせいかつ とうじしゃ じっせん おくふかりかい あ
ました。それは自立生活している当事者たちが実践しているから奥深く理解し合えるの

かん
だと感じさせられました。

おや こ おや げんき
また親からは、その子のために親が元気

おやな ちいき
なうちに親 じきあとのネットワークや地域

せいかつ おこな
生活できるようなエンパワーメントを行

じゅうよう かん
ことが重要だと感じました。



われわれ にか とうじしゃほんにん なに
あと我々が関わっていくうえで、当事者本人たちは何をどうすればいいか、どのように

そうだん わか ひと たちば
相談すればいいのか解らないところもあるはずなので、その人たちの立場にたつてどういうふう

きも ひだ じゅうよう おも
に気持ちを引き出していけばいいかが重要になってくるのではないかと思いました。